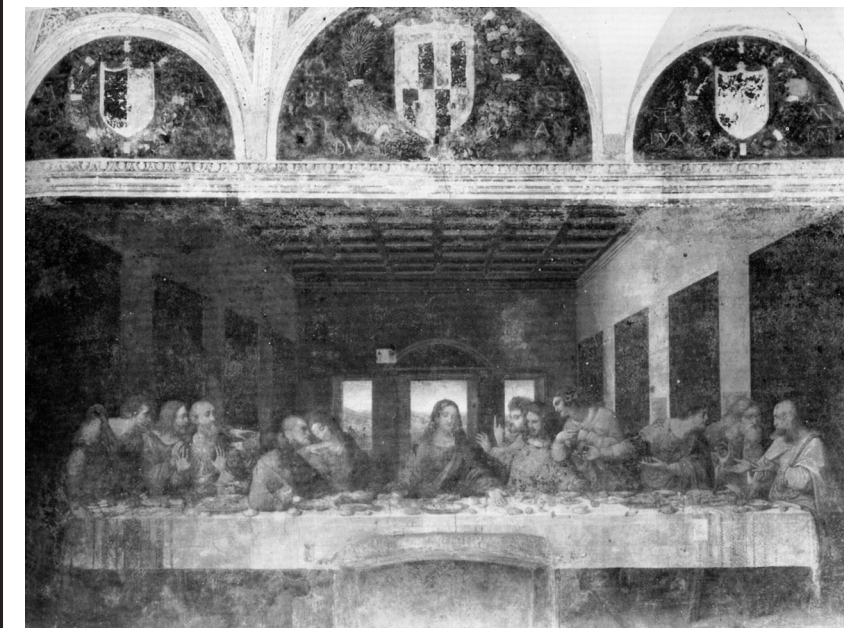


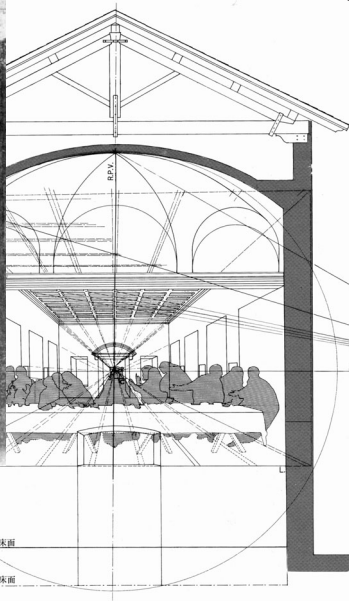


# 名画『最後の晚餐』には 巨大な「大聖堂」が隠されていた!

ダ・ヴィンチ研究の  
決定版



食堂の断面との関係を考慮して解析された透視図の基本的要素(図428 本書P427収録)



レオナルドの貴重な手稿と描画、全544点を完全網羅。  
本書を見ずしてダ・ヴィンチは語れない!

本書では『最後の晚餐』『東方三博士』『受胎告知』などの名画に秘められた万能の天才レオナルドの卓越した構想が証明されている。ダ・ヴィンチ研究の第一人者カルロ・ペドレッティが学術的に考察し、精緻な事実のみに基づいた検証プロセスはまさに圧巻! 本書が今話題の映画・推理小説にも大きな影響を与えていることは明白であるが、学術的な事実に拠っているだけにフィクションよりもはるかに知的スリルに溢れている。大英博物館、ルーヴル美術館、パリ国立文書館、フィレンツェ国立古文書館などの門外不出の貴重な資料の収載は、カルロ・ペドレッティでなければ成し遂げられなかった空前絶後とも言える快挙である。レオナルド研究家のみならず、美術、文学、歴史愛好家、建築関係者にとっても必見の価値がある。

Architect  
**LEONARDO**  
Carlo Pedretti

日本語版〈永久保存愛蔵版〉  
**建築家レオナルド**

カルロ・ペドレッティ 著

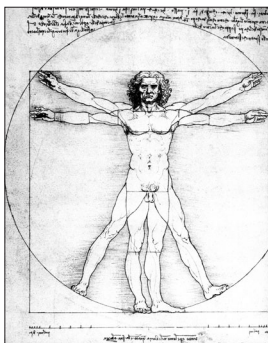
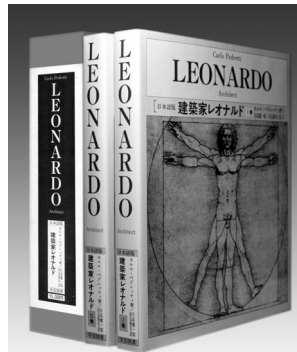
日高健一郎／河辺泰宏 訳

I・II巻／総509頁

豪華特製箱入／上製本(246×284×30mm)

定価[本体15,000円+税]

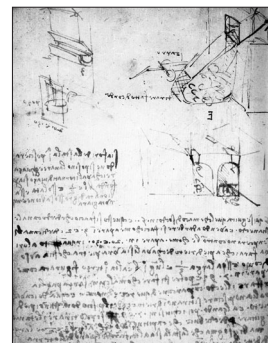
ISBN4-903685-00-4



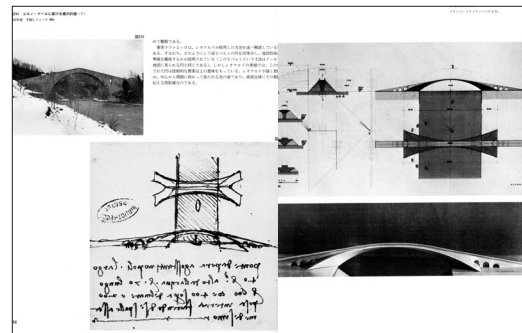
『ウィトルウィウスの人体』  
1490年頃 ヴェネツィア アッカデミア  
美術館 蔵(図230 本書P274収録)



『最後の晚餐』の使徒のスケッチと大聖堂の構想  
1495年頃 ウィンザー手稿 RL12552 ウィンザー城、  
王立図書館 蔵(図104 本書P137収録)



『メディチ家既舎の規範』の最終計画案  
パリ、国立文書館 蔵 1487年-90年頃  
手稿B フォリオ38v-39r  
(図385 本書P384-385収録)



[左] コルノ・ドーロに架ける橋の計画 パリ、国立文書館 蔵  
1502年頃 手稿L フォリオ66r (図244 本書P284収録)

[右] 図245、246レオナルドによるコルノ・ドーロ架橋計画の分析  
フランコ・スケッチーニによる(図245、246 本書P285収録)